

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 2024 年度

法人名	湘南乃えん株式会社	代表者	小林 由憲	法人・事業所の 特徴	「真の幸福を探求し、みらいの福祉を創造する」という法人理念のもと、私たちは本人だけでなく、ご家族にも自宅での生活を諦めない選択ができるよう、様々な方法を提案し、支援を行ってまいります。ご利用者が当たり前の生活をごく自然に送れること、そして、人生の楽しみを見つけるお手伝いができるよう努めています。
事業所名	湘南ケアホームえん	管理者	島田 亜希子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2 人	人	2 人	1 人	人	4 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	常勤スタッフが主体となり、事業所自己評価に取り組む	常勤スタッフが中心となり事業所評価に取り組むことができていた	スタッフ全員での取り組みは不足している部分もあったように思われる	常勤スタッフが主体となり、事業所自己評価に取り組む（前回継続）
B. 事業所の しつらえ・環境	誰もが「入りやすい」えんを目指す	施錠することなく開放的なイメージ作りに努めた。地域の方が散歩コースにされるなど、えん敷地内に気軽に立ち寄っていただけた	散歩の途中に立ち寄れるくらいでちょうどいい	「施錠しない」「掃除の行き届いた清潔な環境」を徹底し、居心地のいい環境作りを目指す
C. 事業所と地域のかかわり	地域の活動に積極的に参加する	公園体操や公民館の催しなど、ご利用者と一緒に参加した	定例で行われている活動にはおおむね参加できたが、情報収集が不十分であったり、情報が埋もれてしまい、参加できないこともあった	明るい挨拶を心掛け、地域の方との馴染みの関係性作りに努める
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	ご利用者とその地域について関りが持てるよう支援する	ご利用者ご自身が地域に出向くことが減ってしまっている。えんから地域へ出向くことはあっても、その方とその地域との関わりを持つことは難しかった	えん周辺の地域活動に参加するだけでも大変だと思う。一人一人の居住地域との関りはより困難だと思う	ご利用者とその地域について関りが持てるよう支援する（前回継続）

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で意見をいただけるよう進行に努め、得た意見を運営に活かしていく	運営推進会議で地域の取り組みを知り、えんの活動を知っていたくことに努めた。貴重なご意見をいただくことができ、参考にさせていただいた	順番に意見を求められることも多く、思ったことや疑問に感じたことを伝えることができた	運営推進会議で意見をいただけるよう進行に努め、得た意見を運営に活かしていく（前回継続）
F. 事業所の 防災・災害対策	いざという時に協働できるよう、地域の防災について理解する	地域の防災訓練に参加した	広域避難場所、指定避難場所ともえんの職員だけでご利用者を避難させるのは難しい。地域の方の協力が必要で、理解と周知に努めてほしい	地域住民参加の避難訓練の実施、及び地域の防災訓練の参加